

# 同窓会の主な周年事業

岡中・一中・一高・二女・二女高の75年							岡山朝日高校となって75年											
1874 M7	1884 M17	1894 M27	1904 M37	1914 T3	1924 T13	1934 S9	1944 S19	1954 S29	1964 S39	1974 S49	1984 S59	1994 H6	2004 H16	2014 H26	2024 R6			
			三十周年 (式典)	四十周年 (式典・記念会報)	五十周年 〔記念憲章館建設〕	六十周年 (記念会報)	七十周年 (式典)	八十周年 〔大講堂建設〕	九十周年 〔同窓会館建設〕	百周年 〔百周年記念館建設〕	百十周年 〔同窓資料館建設〕	百二十周年 〔記念回顧展〕 〔記念美術展〕 〔同窓資料館充実〕	百三十周年 〔百周年記念館改修〕	百四十周年 〔校門の改修・美術品修復・同窓会館改修〕	百五十周年			
<p>小学校教員養成のための温知学校を開校。その予科に教員志望でない生徒の入学を認めた。これを「本校の濫觴(らんしょう：始まり、起源)」とした。</p>  <p>50周年 記念憲章館</p>							 <p>80周年 大講堂</p>		 <p>90周年 同窓会館</p>		 <p>100周年記念館</p>		 <p>110周年 同窓資料館</p>		 <p>130周年 百周年記念館改修</p>		 <p>140周年 校門扉改修</p>	
<p>1936年(S11)岡山県第二岡山高等女学校開校</p>							<p>1949年(S24)前年の学制改革を経て一高と二女高が合併し、岡山朝日高等学校となる。内山下校舎(旧一高)では75周年式典が行われ、仁科芳雄博士の記念講演会が行われた。</p>											

## 母校創立150周年事業について

同窓会では、昨年9月に150周年特別委員会を設置し検討を進めて参りました。

この記念すべき150周年を迎えるにあたり、我々同窓生が母校の後輩達に何ができるかを改めて考えた時、これまでのような建物や物を支援するというハード的な考えではなく、「文化で貢献する」というソフト面への発想の転換が必要であるとの思いに至りました。

そこで、次の二つの柱を以て150周年の記念事業とすることといたしました。

- I. 「母校の歴史を振り返り後世に足跡を残す」
- II. 「母校や地元岡山に文化で貢献する」

### 具体的な事業内容

#### 1. 母校ゆかりの場所への説明板設置

岡中・一中のあった烏城本丸跡、二女のあった藩校跡等への説明板を設置するとともに、母校校地内に校舎・卒業生の学びの歴史を刻んだ看板の設置

#### 2. 文化講演会等開催のための基金の設置

「岡山朝日高校創立150周年記念文化事業基金」(略称「150周年文化基金」)を設置。著名人の講演・演奏会等を企画し、生徒や同窓生だけでなく一般にも公開可能とする。今後10年を目途に、生徒が在学中に一度は享受できるよう原則3年に一度の開催を目指す

#### 3. 母校所蔵作品集の作成

140周年の記念事業として所蔵作品集を作成したが、所蔵作品が増えたため新版を作成。修復履歴・出品履歴も紹介する。

※募金目標額等は、募金振込用紙上部の趣意書をご覧ください。